独立行政法人工業所有権情報・研修館知財戦略部イノベーション支援担当　宛

**大学　応募申込書**

「独立行政法人工業所有権情報・研修館(以下、「INPIT」という。)委託事業　知財戦略デザイナー派遣事業　令和5年度 派遣先大学募集要領」に記載された事項と令和5年度の本事業の受託事業者（以下、「事務局」という。）の「個人情報の取扱いについて」を了承の上、下記のとおり応募します。

令和5年　月　日

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 1. 申請機関 | | |
| 機関名称（大学名） | |  |
| 事業実施責任者（職・氏名）  ※下記事業実施組織の長、担当理事等 | |  |
| 事業実施組織名称 | | 例　URA室、産学連携本部、○○研究科 |
| 事業実施  担当者 | 所属 |  |
| 役職・氏名 |  |
| 電話番号 |  |
| E-mail |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 1. 申請概要 | | |
| 派遣形態と必要日数 | 常駐型（第1希望第2希望第3希望）  （希望領域：　下欄から選択。複数記入可。　　　　　）  （協働内容：　下欄から選択。複数記入可。　　　　　）  スポット型　24日程度（第1希望第2希望第3希望）  （希望領域：　下欄から選択。複数記入可。　　　　　）  （協働内容：　下欄から選択。複数記入可。　　　　　）  スポット型　12日程度（第1希望第2希望第3希望）  （希望領域：　下欄から選択。複数記入可。　　　　　）  （協働内容：　下欄から選択。複数記入可。　　　　　）  ※希望する受入形態及び希望の優先度にチェックしてください。  ※常駐型、スポット型(24日程度、12日程度)のいずれも併願可能です。  ※希望領域が複数あり、それぞれ協働内容が異なる場合、対応関係が分かるように記入をお願いします。 | |
| デザイナーとの協働を希望する研究領域 | 医療機器、創薬、バイオ、ナノテク、有機化学、無機化学、  電気電子、情報通信・情報サービス、AI・IoT、  機械・ロボティクス、その他（具体的に） | |
| 特にデザイナーと協働したい内容 | 発明発掘、出願・権利化支援\*1、出口戦略\*2、  その他（具体的に）  \*1知財戦略デザイナーは知財活用のアドバイスを行いますが、  出願・権利化支援に関連する明細書作成業務等は行いません。  \*2企業との共同研究への橋渡し、スタートアップ起業のための準備  や起業に向けた助言等。 | |
| 知財戦略デザイナー受入れ部署  （URA等が所属する部署） | 部署名：  例：産学連携本部、工学研究科等  住所：  ※複数の知財戦略デザイナーの受入れ部署が異なる場合、「部署名」と「住所」を適宜追記してください。 | |
| 協働するURA等 | 1人目 | |
| 氏名 |  |
| 所属 |  |
| 専門分野 |  |
| 任期 | 例　任期あり　or 任期なし |
| 在籍年 | 例　〇年目 |
| 2人目（任意） | |
| 氏名 |  |
| 所属 |  |
| 専門分野 |  |
| 任期 | 例　任期あり　or 任期なし |
| 在籍年 | 例　〇年目 |
| 3人目（任意） | |
| 氏名 |  |
| 所属 |  |
| 専門分野 |  |
| 任期 | 例　任期あり　or 任期なし |
| 在籍年 | 例　〇年目 |
| 4人目（任意） | |
| 氏名 |  |
| 所属 |  |
| 専門分野 |  |
| 任期 | 例　任期あり　or 任期なし |
| 在籍年 | 例　〇年目 |
| 応募に同意している産学連携本部等の者（職・氏名）  ※事業実施責任者又は事業実施担当者が産学連携本部等の所属でない場合は記入してください。 |  | |

|  |
| --- |
| 1. 事業実施体制　※記載欄及びページ数は適宜増やして構いません。記載例等は消して申請書を記入してください。 |
| 3-1. 機関の運営体制 |
| 申請機関の知財戦略デザイナー受入れ部局と関連部局（産学連携・知的財産関連部局、研究科等）の事業実施体制を図示して説明をしてください。（選定基準(1)に対応）  ※組織体制図を示した上で、本事業を実施するにあたり、大学内における知財戦略デザイナーとURA等との役割の違い、各部署がどのように連携していくのか、各部署と知財戦略デザイナーの活動との観点から、説明してください。 |
| 3-2.　上記「派遣形態と必要日数」で選択した協働内容に関するプロセス |
| 例えば、協働内容として「発明発掘」や「出願・権利化支援」を選択した場合、知財戦略デザイナーの受入れ部局における、発明相談から発明届出までのプロセスや、発明届出から知財化までのプロセスについて、関連部署の機能分担を図示して説明をしてください。（選定基準(1)に対応）  ※上記「派遣形態と必要日数」で選択した協働内容に関するプロセスを図示して説明してください。 |
| 3-3. 知財戦略デザイナーの受入れ体制 |
| （A）派遣される知財戦略デザイナーの受入れ環境（机、ネット環境等の用意）について説明してください。知財戦略デザイナーへの肩書きの用意が可能の場合は、どのような学内用の肩書きが用意（客員研究員、特任教員等）できるかについても説明をしてください。（応募資格及び選定基準(1)に対応）  ※記載例：知財戦略デザイナーには協働するURA等の近くに机を配置し、URA等と相談がしやすい環境を整備する。また、知財戦略デザイナーには学内IDを付与し、学内のネット環境の利用、及びイントラの閲覧を可能にする。知財戦略デザイナーには、学内業務を円滑にするために特任教授の肩書きを用意する予定である。 |
| （B）知財戦略デザイナー派遣の学内での活動のサポート体制や工夫する点を説明してください。（学内業務を円滑にするためにアドバイザーを用意するなどが望ましい）（選定基準(1)に対応）  ※記載例：知財戦略デザイナーが提案した活動案を学内で合意を得ながら進められるように、知財戦略デザイナーのアドバイザーとして〇〇教授を置く体制をとることとする。これによって、〇〇や〇〇のサポートを得ながら進めることが期待できる。 |
| （C）現在の機関内のURA等の人数、専門分野、人事制度等を踏まえて、本事業で派遣される知財戦略デザイナーと協働するURA等の専門性を記入してください。なお、URA等の人数等の組織の規模は選定に際し考慮しません。（選定基準(1)に対応）  記載例：現在、URA等は○○部門に計〇名おり、〇〇グループ、〇〇グループ、〇〇グループ、〇〇グループに分かれて在籍している。今回、知財戦略デザイナーと協働するURA等は〇〇グループに所属する２名の予定で、うち１名はこれまでグラント申請をメイン業務とし、他の１名はこれまで契約支援をメイン業務としてきたが、今後、知財面の支援も行っていきたいと考えている。 |
| 4.令和４年度の活動成果　※令和４年度に知財戦略デザイナーが派遣された大学のみ記入してください。 |
| 令和４年度に、知財戦略デザイナーとURA等とで協働して、どのような課題に対し、どのような活動を行い、その結果どのような成果・気付き（新たに見えてきた課題等）があり、令和５年度事業をどのように活用していきたいかを記載してください。（選定基準(2)、(3)に対応）  記載例：学内において発明発掘に取り組もうとしていたところ、早期社会実装に向けた研究成果を有するものの特許出願を行っていない研究者を、どのように特定すれば良いかわからなかった。令和４年度に本事業に取り組み、URA等が知財戦略デザイナーと協働することによって、○○を用いると的確に早期社会実装に向けた研究成果を有する研究者を特定できるというノウハウを学ぶことができた。また、○人を訪問し、そのうち○人は、特許出願に向けたマイルストーンを策定した。令和５年度は特許出願を〇件進め、知財活用についても知財戦略デザイナーと共に検討したい。 |
| 5.現状と本事業に関する計画 |
| 5-1.現状 |
| 知財戦略デザイナーによる活動を希望する研究領域の現状を記入してください。なお、令和４年度に知財戦略デザイナーが派遣された大学は、上記「4.令和４年度の活動実績」と重複して構いませんので、令和４年度の活動実績を踏まえてご記入ください。（選定基準(2)、(3)に対応）  記載例：知財戦略デザイナーによる活動を希望する研究領域は〇〇の分野である。〇〇分野に関わる〇〇研究科や〇〇研究科の研究者数、研究費は〇〇、共同研究受入額、受託研究受入額は○○、〇〇で、発明届出数、特許出願数、論文数は○○、〇〇であり、論文数は近年増加傾向である。現状、研究者からの申請を起点として共同・受託研究や特許出願が行われており、これらは増加傾向にないが、〇〇分野の研究は社会実装につながるポテンシャルが高いと考えられる。 |
| 5-2. 本事業に関する活動計画 |
| 「5-1.現状」を踏まえ、知財戦略デザイナーの活動を得て取り組みたい課題と知財戦略デザイナーと協働して行う活動計画を可能な限り具体的に記入してください。また、知財戦略デザイナーと協働するURA等が、知財戦略デザイナーからどのような知見・ノウハウを得たいと考えているかについても可能な限り具体的にご記入ください。（選定基準(3)に対応）  記載例１：知財戦略デザイナーによる活動を希望する〇〇分野は、○○大学の強い分野であり、今後企業との共同研究の増加が期待されるが、発明届出が少ないという課題がある。〇〇分野の研究者の中から、〇〇といった基準で研究者を特定し、知財戦略デザイナーと共に該研究者を訪問する計画をたてている。知財戦略デザイナーと協働するURA等は、特許検索や市場動向を調査するノウハウを身につけたいと考えている。  記載例２：知財戦略デザイナーによる活動を希望する〇〇分野は、企業との共同研究が活発な分野であるが、知財に関して企業との共同研究後に企業の意向で取得している現状にあるところ、今後は大学で特許を単独出願して、企業との契約を大学優位に進めたいという問題意識がある。知財戦略デザイナーからは、企業との連携に資する特許出願のノウハウを学びたい。 |
| 6. 本事業のマイルストーン |
| 6-1. 本事業成果の計画値 |
| 本事業を通じて、知財戦略デザイナーと協働して行う活動に係るマイルストーン（計画値）について、知財戦略実行に係る以下の目標件数についてご記入ください。（選定基準(４)に対応）  発明届件数：　　件  特許出願件数：　　件  その他（例：共同研究契約数　2件、企業へのライセンス数　1件、スタートアップ設立件数　1件）  （自由記載　　　　　　　件）  （自由記載　　　　　　　件）  （自由記載　　　　　　　件） |
| 6-2. 社会実装に係る中長期ビジョン |
| 本事業を通じて達成したい貴学の社会実装に係る中長期ビジョンをご記入ください。（選定基準(４)に対応）  ※大学として強化していきたい技術分野を明確にし、その技術分野の知財戦略に基づき、企業へのライセンスを増やす、大学発スタートアップ数を増やす等、社会実装を見据えたビジョンを具体的に記載ください。 |

個人情報の取扱いについて

事務局は、個人情報の保護に関する法律に基づき、ご提供いただきました個人情報（以下、「個人情報」といいます。）を以下のとおり取扱います。

１．利用目的

本事業における派遣先大学の選定ならびに選定に使用します。また、個人を識別しない状態に加工した統計資料等に利用することが有ります。ご提供いただいた個人情報は、上記の利用目的以外で利用することは有りません。

２．安全管理

個人情報の漏洩等がなされないよう、適切に安全管理対策を実施します。

３．委託

個人情報を他の事業者へ委託する場合は、個人情報保護体制が整備された委託先を選定するとともに、個人情報保護に関する契約を締結いたします。

４．提供

大学応募申込書に記載されたすべての個人情報は、第一項記載の利用目的の範囲内で委託元であるINPITと共同利用いたします。大学応募申込書に記載されたすべての個人情報は、第一項記載の利用目的の範囲内で本事業の委員会を構成する委員に提供する場合があります。

法令に定める場合を除き、個人情報を事前に本人の同意を得ることなくINPITの関係者である特許庁を除く第三者に提供いたしません。共同利用する個人情報の管理について責任を有する者は知財戦略デザイナー派遣事業の事務局といたします。

５．開示・訂正・削除・利用停止等

開示・訂正・削除・利用停止等に対応いたします。開示・訂正・削除・利用停止等をご請求される場合は、下記、＜お問合せ窓口＞までご連絡ください。

６．苦情・ご相談

個人情報の取扱いに関する苦情・ご相談等は、下記、＜お問合せ窓口＞までご連絡ください。

７．ご本人が個人情報を与えることの任意性及び当該情報を与えなかった場合にご本人に生じる結果について

個人情報の提供は任意ですが、提供されなかった場合は本事業における派遣先大学の選定の対象から外れる場合がありますので、予めご了承ください。

＜お問合せ窓口＞

INPIT知財戦略部イノベーション支援担当 安野、高島

TEL: 03-3580-6949 （受付時間：平日10：00～17：00）　E-mail: ip-sr05@inpit.go.jp

※ただし、人事異動等があった場合には、新たな職員が担当する。

以上